

図書館だより

第4号
2018年
読書感想文特別号

読書感想文コンクール結果

最優秀	2年2組	前田 愛華 さん	『私の人生なのに』	(西尾東部中)
優秀	2年4組	岡本 剛 さん	『なぜ生きる』	(寺津中)
佳作	2年3組	清水 美花 さん	『100回泣くこと』	(一色中)



書名	著者名	出版社
私の人生なのに	東きゆう	講談社
なぜ生きる	高森顕徹	1万年堂出版
100回泣くこと	中村航	小学館

総評



各クラスの代表作品の中から、優秀作品を選びました。

- ・最優秀の前田さんは、本を読んだことで自分の人生を見つめ直すきっかけとなり、自分の人生を大切に生きていきたいという強い思いが作品から伝わってきました。
- ・優秀の岡本さんは、本を読んだ前後での自分の気持ちの変化がしっかりと書かれていました。とてもいい内容の作品でした。
- ・佳作の清水さんは、主人公の気持ちに共感したこと、著者の思いを推測したこと、それを自分の言葉、表現を使って、丁寧に書いた作品でした。

本を読んで、何を感じたか、考えたか、学んだか。そして、それを今後どのように生かしていくかを自分の言葉で表現している作品を優秀作品として選考しました。

最優秀作品を第64回青少年読書感想文愛知県コンクールに応募しました。

毎年のことですが、誤字脱字を含め漢字の使い方の間違い（特に送り仮名）が目立ちました。

今年は、ストーリー性のある本を選んで感想文を書いた生徒が多かったです。ストーリーを読むことは、自分の人生のストーリーを考えることに繋がります。

来年度も読書感想文コンクールがあります。たくさんの本にふれ、読書に親しんで下さい。

～ 最優秀賞に選ばれた前田愛華さんに、インタビューをしました。～

Q. 『私の人生なのに』の本を選んだきっかけは何ですか？

A. 市立図書館に行ったとき、この本と出会いました。題名とイラストに引きつけられて、借りて読みました。

Q. 読書感想文の書き方のポイントを教えてください。

A. 読み手に自分の気持ちが伝わるよう、わかりやすく書くように心がけています。現代文の授業で配布された感想文の書き方のプリントを参考にして書きました。書いている途中には、友達に読んでもらってアドバイスをもらいました。

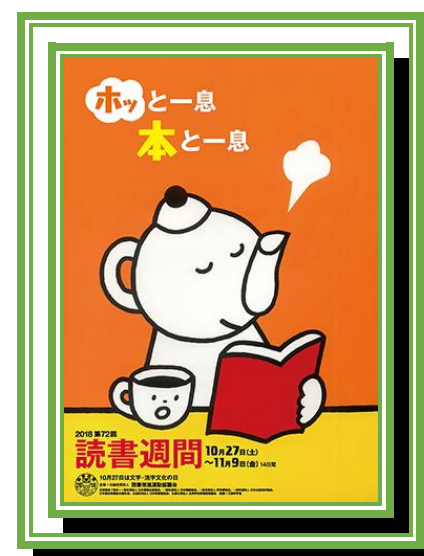
Q. 好きな本やお勧めの本などを教えてください。

A. ファンタジーや学園ものの本が好きです。一色高校の図書館で借りた『人類は衰退しました』（田中ロミオ著・ガガガ文庫）は、お勧めです。著者では、有川浩さんの本が好きです。

一色高校図書館の人気本を紹介します。

今年度の貸出数ナンバー1は、シリーズ累計800万部を超える『キノの旅』（時雨沢恵一著・電撃文庫）です。旅人のキノが言葉を話すモトラド（二輪車）の相棒エルメスと様々な国を巡り、独特の制度や技術、価値観を持つ国家や国民と関わりながら旅をするという物語です。このシリーズ本のファンも多いようです。

図書館には、生徒の皆さんに人気のあるライトノベルやファンタジー系の本も数多くあり、年に2回の購入図書では、様々な本が入荷しています。生徒の皆さんの購入希望図書も随時受け付けています。希望がある人は、是非来館して、希望用紙に記入してください。



毎年、10月27日～11月9日（文化の日を中心にした2週間）は、秋の読書週間です。今年の標語が発表されました。

『 ホットと一息、本と一息 』

今年も、図書委員の皆さんに読書週間のポスター作成をお願いしています。毎年、オリジナルの素晴らしい作品を描いてきてくれます。図書館や廊下に掲示するので、乞うご期待！！